

平成 20 年 度

大学院教育学研究科（専門職学位課程）

# 第 2 次 学 生 募 集 要 項

高 度 教 職 実 践 専 攻  
（ 教 職 大 学 院 ）

北 海 道 教 育 大 学

平成20年度 北海道教育大学大学院教育学研究科（教職大学院）入学試験日程

	募 集 日 程
外国籍を有する入学志願者 <b>【出願資格の確認】</b>	〔出願資格確認書類の提出期限〕
	平成20年2月21日（木）
出願資格(8)に該当する者 <b>【大学等の発行した研究歴を証明                      する書類の提出期限】</b>	平成20年2月21日（木）
出願資格(9)に該当する者 <b>【個別の入学資格審査】</b>	〔入学資格審査書類の提出期限〕
	平成20年2月21日（木）
	〔入学資格審査の可否の通知〕
	平成20年2月22日（金）
出 願 受 付 期 間	平成20年2月22日（金）～27日（水） 消印有効
受 験 票 の 発 送	平成20年2月29日（金）
学 力 検 査 日	平成20年3月9日（日）
合 格 者 発 表	平成20年3月14日（金） 午前9時
入 学 手 続	平成20年3月17日（月）～21日（金）
前 期 分 授 業 料 の 納 入 期 間	平成20年4月1日（火）～30日（水） 前期分授業料納入の際に「後期分」の授業料も併せて納入できます。

# 目 次

1	入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
2	募集人員・修学校	1
3	出 願 資 格	1
4	出 願 手 続	2
5	選抜方法及び配点	4
6	学 力 検 査 日 程	4
7	学力検査の時間割	4
8	合 格 者 発 表	5
9	入 学 手 続	5
10	授 業 料	5
11	成績優秀者に対する奨学金支給	5
12	長期履修学生制度	5
13	個人情報の取り扱い	6
14	そ の 他	6
	試験会場位置図	7
	日本学生支援機構奨学金	8
	大学院教育学研究科高度教職実践専攻（専門職学位課程）概要	9
1	目 的	9
2	概 要	9
3	授業方法	10
4	教育職員免許状	10
5	履修基準	11

## 1 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本教育学研究科高度教職実践専攻は、学校教育現場に生起する諸課題に対して、問題解決への力量、技量として、授業実践力、学級・学校経営力、生徒指導力、教育相談力、協働遂行力、地域連携教育力を身につけさせることを目的としています。

これらを踏まえて、特に現職教員にあっては、学校・地域の課題を自分の課題として自覚し、この課題の解決に向けて研究する意欲がある人を求めています。また、ストレートマスターにあっては、教職への強い希望と情熱を持ち、将来学校を背負う中堅教員となることを自覚し、新しい学校づくりの有力な一員となる意欲がある人を求めています。

## 2 募集人員・修学校

専攻	選抜区分	募集人員	修学校
高度教職実践専攻	現職教員	8人	札幌校，旭川校，釧路校
	ストレートマスター	5人	
合計		13人	

（注1）選抜区分の「現職教員」について

現職教員とは、小学校、中学校、中等教育学校、幼稚園、高等学校、特別支援学校（以下「小学校等」という。）に5年以上勤務している専任の教員で、所属する小学校等の長から推薦された者をいいます。

小学校等には、教育関係機関（教育委員会及び教育研究所等）を含みます。

現職教員としての在職期間には、期限付きで任用された期間を含み、時間講師の期間は除きます。

在職した年月数は、平成20年4月1日現在で算出し、月数が1か月未満の場合は、1か月に切り上げて算出します。

（注2）選抜区分の「ストレートマスター」とは、上記に規定する「現職教員」以外の者で教員免許状を有する者又は取得見込みの者をいいます。

（注3）現職教員大学院生の教育課程は、学校教育現場に生起する課題の解決を目指すことを中心に編成されています。（詳細は6頁「現職教員の教育課程の特色」参照）

（注4）現職教員大学院生の勤務校は、北海道教育大学と協議のうえ連携協力校として協力することとなります。（詳細は6頁「現職教員と連携協力校」及び9頁「実習内容」参照）

## 3 出願資格

出願資格は次のいずれかに該当し、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）に定める免許状を有する者又は取得見込みの者としします。ただし、現職教員の選抜区分で出願しようとする者は、現職教員としての要件が必要となります。

- （1）大学を卒業した者及び平成20年3月卒業見込みの者
- （2）学校教育法第68条の2第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成20年3月までに授与される見込みの者
- （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成20年3月修了見込みの者
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育施設において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- （6）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号の規定による。）
- (8) 大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、次の要件を満たし、かつ、本大学院が我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。  
大学教育修了後、日本国内又は外国の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準じる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね1年以上研究に従事し、平成20年3月末までに22歳に達する者
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者。

(注1) 外国籍を有する入学志願者は、あらかじめ出願資格の確認を行いますので、下記期日までに志望する修学校へ、「出願手続」の「出願書類」(2頁)中の「履歴書」、「卒業(見込)証明書」及び「成績証明書」のそれぞれの~~コピー~~を提出してください。  
平成20年2月21日(木)

(注2) 出願資格(7)の文部科学大臣の指定した者とは、次の者等を指します。

- ・「教育職員免許法(昭和24年法律第147号)による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は1種免許状を有する者で22歳に達したもの」
- ・「旧国立養護教諭養成所設置法(昭和40年法律第16号)による国立養護教諭養成所を卒業した者で、教育職員免許法による中学校教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は1種免許状を有するもの」

(注3) 出願資格(8)に該当する者は、「大学等の発行した研究歴を証明する書類」を下記期日までに志望する修学校へ提出し、学力認定に関する指示を受けてください。  
平成20年2月21日(木)

(注4) 出願資格(9)については、「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者」などが対象です。  
これによって出願しようとする場合は、事前に「個別の入学資格審査」を行う必要がありますので、下記期日までに志望する修学校に問い合わせてください。  
資格審査書類の提出期限 平成20年2月21日(木)

なお、個別の入学資格審査の可否については、下記期日までに本人あてに通知します。  
平成20年2月22日(金)

#### 4 出 願 手 続

志願者は、出願に必要な書類及び入学検定料を取り揃え、必ず本学所定の封筒を使用し、出願受付期間中に「志望する修学校」へ持参又は「書留・速達」便で郵送してください。

##### (1) 出願書類

次の書類のうち、～、～、及びは、本学所定の用紙です。

書類等の名称	提出該当者	摘 要
入 学 願 書	全 員	印欄は、記入しないでください。
履 歴 書	"	履歴に空白期間がないように記入してください。 外国人の志願者は、外国人出願者用の履歴書により記入してください。
受 験 票 ・ 写 真 票	"	写真は、出願前3か月以内に撮影した上半身、正面向、脱帽のもの(縦4cm×横3cm)を貼付してください(2枚同一のもの)。
卒業(見込)証明書	"	出身大学長(大学卒業以外の者は、最終卒業学校長)が作成したものを提出してください。
成 績 証 明 書	"	出身大学長(大学卒業以外の者は、最終卒業学校長)が作成し、厳封したものを提出してください。

所属長の推薦書	現職教員のみ	学校等長が作成し、厳封したものを提出してください。 推薦理由は、例として、志願者の学校で果たしている役割、教育に対する情熱、学級経営、生徒指導、教科指導等で特筆すべき活動、今後、学校で活躍が期待される事項等をもとに記入してください。
志望理由書	〃	
研究計画書	〃	「研究計画書」の「4 これまでの教育実践及び研究上の成果」については、学校教育における実践がない場合であっても、これまで取り組んできた研究活動の成果について記入してください
志望理由及び研究計画書	ストレートマスターのみ	
教育実践記録書 (論文等を含む。)	現職教員のみ	提出する教育実践記録書・論文等については、次のとおりですが、英語以外の外国語で書かれた論文等には、その日本語訳(要約又は抄訳等)を添付してください。 提出する教育実践記録書・論文等 著書 学会誌・紀要等に掲載された論文 商業誌等に掲載された論文・研究報告 教育研究集会・地区研究会等における研究報告 その他これらに準ずるもの
学位授与証明書	出願資格(2) 該当者のみ	大学評価・学位授与機構が作成した学位授与証明書を提出してください。 出願資格(1)の大学を卒業した者は、提出不要です。
教育職員免許状授与証明書	出願資格(7) 該当者のみ	免許状を授与した都道府県教育委員会が作成したもの又は教育職員免許状のコピー(裏面に単位数の記載のあるものは裏面のコピーも含む。)を提出してください。
受験票等返送用封筒	全員	360円分の切手を貼付し、志願者の住所・氏名・郵便番号を記入してください。
あて名票	〃	合格通知書が確実に配達される住所を記入してください。
外国人登録原票記載事項証明書	外国人の該当者	現に日本国内に在住している外国人は、市区町村長の発行する外国人登録原票記載事項証明書(在留資格・期間が明記されているもの)を提出してください。

(注) 提出書類中、英語以外の外国語で書かれた証明書には、その日本語訳を添付してください。

～の提出書類は、本学のホームページ(<http://www.hokkyodai.ac.jp>)からダウンロードできますので、データを入力し、印刷したものを提出することもできます。

(2) 入学検定料 30,000円

同封の「郵便振替払込用紙」に必要事項を記載し、郵便局へ「30,000円」を払い込み、「郵便振替払込受付証明書(お客さま用)」を「受験票・写真票」の裏面に貼付してください。

ただし、平成20年度既設専攻の前期試験に合格した者で、高度教職実践専攻の入学者選抜試験に出願する者は、特例措置として入学検定料を免除します。

なお、入学検定料を免除された者で、高度教職実践専攻の入学者選抜試験に合格した者は、平成20年度既設専攻前期試験の合格を辞退していただきます。辞退手続の詳細は、合格者へお知らせします。

(3) 出願受付期間

平成20年2月22日(金)～2月27日(水) 消印有効

持参の場合の受け付けは、午前9時から午後5時までとします(土・日曜日を除きます。)

(4) 出願先及び問い合わせ先

修学校名	郵便番号	所在地	担当	電話
札幌校	002-8502	札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号	入試課	011 - 778 - 0273
旭川校	070-8621	旭川市北門町9丁目	学務グループ	0166 - 59 - 1223
釧路校	085-8580	釧路市城山1丁目15番55号	学務グループ	0154 - 44 - 3229

(5) 出願に当たっての留意事項等

ア 受け付けた出願書類及び入学検定料は、返還しません。

ただし、入学検定料を納入したが、出願しなかった者は、経理課経理グループ（電話011-778-0232）に申し出た場合には返還します。

イ 身体に障害のある者及びその他の事情のある者で、受験に際し特別な配慮を必要とする者は、事前に志望する修学校に申し出てください。

ウ 受験票は、下記期日に発送します。

平成20年2月29日（金）

## 5 選抜方法及び配点

(1) 選抜区分「現職教員」に出願した者

入学者の選抜は、「所属長の推薦書」「志望理由書」「研究計画書」及び「教育実践記録（論文等を含む。）」に基づく口述試験及び最終卒業学校の成績の結果等を総合して判定します。

(2) 選抜区分「ストレートマスター」に出願した者

入学者の選抜は、「志望理由及び研究計画書」に基づく口述試験、小論文及び最終卒業学校の成績の結果等を総合して判定します。

(3) 配点

「現職教員」の口述試験の配点は400点とします。

「ストレートマスター」の口述試験は300点、小論文は100点とします。

(4) 口述試験の内容

口述試験は、本大学院における研究課題、目的、方法、これまでの教育実践及び研究上の成果等や意欲を問うことが主な内容になります。

## 6 学力検査日程

(1) 学力検査日

平成20年3月9日（日）

(2) 試験会場

志望した修学校の試験会場で受験してください（他の修学校の試験会場で受験することはできません）。

## 7 学力検査の時間割

(1) 現職教員	口述試験	9：30～17：00
(2) ストレートマスター	小論文	9：30～11：30
	口述試験	13：00～17：00

（注1）受験者が多い場合は、口述試験が「17：00」を超えることがあります。

（注2）現職教員の口述試験の試験開始時間については、受験票送付時に個別にお知らせします。

（注3）集合時間は、試験開始時間の「30分前」までとします。

## 8 合格者発表

平成20年3月14日(金)午前9時

## 9 入学手続

### (1) 入学手続期間

平成20年3月17日(月)～3月21日(金)(祝日を除きます。)

入学手続きは、入学料等を「郵便振替払込用紙」により郵便局で払い込み、「郵便振替払込証明書(お客さま用)」を同封し、「書留・速達」便により、入学手続き期間内に必ず到着するように送付してください。

持参の場合の受け付けは、午前9時から午後5時までとします。

### (2) 納入金

入学料 納入金額 282,000円(予定額)

(注1) 上記の金額は、予定額であり、入学時に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

(注2) 入学料は、上記の入学手続き期間内に納入してください。

(注3) 納入した入学料は、返還しません。

(注4) 入学料については、免除及び徴収猶予の制度があります。

詳細については、合格者あてに別途通知します。

(注5) 上記注4の免除制度に加えて、入学試験成績優秀者に入学料の免除を平成19年度入学者から実施しています。

## 10 授業料

授業料 納入金額(前期分) 260,400円(年額520,800円)(予定額)

(注1) 上記の金額は、予定額であり、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

(注2) 前期分の授業料は、平成20年4月1日(火)から平成20年4月30日(水)までの間に納入してください。

なお、前期分の納入の際に後期分も併せて納入できます。

(注3) 授業料については、免除及び徴収猶予の制度があります。

詳細については、合格者あてに別途通知します。

## 11 成績優秀者に対する奨学金支給

本学では、平成18年12月に「教育支援基金」を設立し、大学院に在籍する優れた資質を備えた現職教員に対し支援事業を平成19年度から実施しています。

## 12 長期履修学生制度

入学後、職業を有する等の事情により、定められた修業年限(2年)では、大学院の教育課程の履修が困難な者を対象とした長期にわたる履修制度があります。職業を有する等とは、有職者(正規雇用、臨時雇用を問いません)、家事、育児、介護等の事情により、フルタイム学生としての修学が困難な事情にあることをいいます。

この制度では、2年間で設定されている教育課程を4年間を上限として履修する計画を立て、長期履修学生として在籍することが可能となり、長期履修学生として認められた場合の授業料は、履修期間にかかわらず、原則として2年分の授業料の納入でよいことになります。

長期履修希望者は、入学手続き時に次の書類を提出し、許可を受ける必要があります。

長期履修申請書

理由書

在職証明書又は在職が確認できる書類(職業を有する者に限る。)

その他大学が必要と認める書類

### 13 個人情報の取り扱い

本学が保有する個人情報は、「独立行政法人の保有に関する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道教育大学保有個人情報管理規則」に基づき、保護に万全を期しています。

出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜（出願処理、選抜実施）、合格者発表、入学手続き、入学者選抜方法等における調査・研究、これらに付随する業務を行うために利用します。

各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託に当たり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部が提供されます。

出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、合格者のうち入学者のみ、入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務を行うために利用しません。

### 14 その他

授業科目、履修基準、教育職員免許状等については、「大学院教育学研究科高度教職実践専攻（専門職学位課程）概要」を参照してください。

なお、【現職教員の教育課程の特色】及び【現職教員と連携協力校】については、下記を参照してください。

#### 【現職教員の教育課程の特色】

現職教員大学院生の場合には、学校教育現場に生起する課題を中心に据え、その解決に向けて能動的に授業に参加し、実習において解決策の実践と検証を行います。得られた成果は、当該勤務校のみならず、研究会等を通じて情報を発信させることとなります。すなわち、「フィールドから出発、フィールドに還元」ということを常に意識する教育課程としております。

#### 【現職教員と連携協力校】

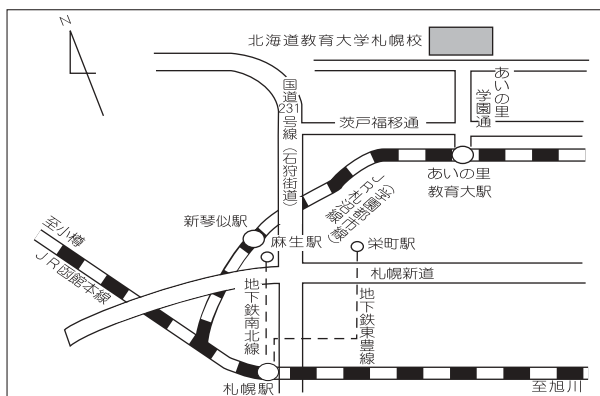
現職教員大学院生の教育課程では、上に述べた課題について、実践的研究や事例収集を行わせることとしています。

従って、現職教員大学院生が所属する勤務校においては、学校の業務に支障のない範囲で、大学院生の研究及び実習を行うことについて、北海道教育大学と協議のうえ連携協力校として協力願うこととなりますので、所属長に充分理解を得られるよう留意願います。

# 試験会場位置図

運行時刻等は、各自でお調べください。

## 札幌校試験会場



### 名称

北海道教育大学札幌校

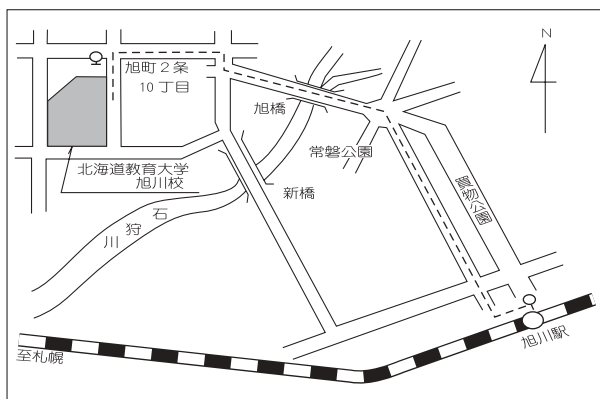
### 所在地

札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号

### 経路

JR「札幌線(学園都市線)」の「あいの里教育大駅」から徒歩約20分  
地下鉄南北線の「麻生駅」から中央バス「麻<sup>④</sup>あいの里教育大線」又は地下鉄東豊線の「栄町駅」から中央バス「栄<sup>③</sup>栄町・教育大線」で「教育大前」下車、徒歩2分

## 旭川校試験会場



### 名称

北海道教育大学旭川校

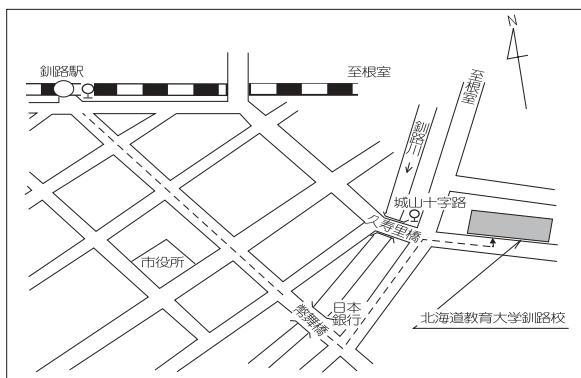
### 所在地

旭川市北門町9丁目

### 経路

JR「旭川駅」からあさでんバス(春光回り)で15分「旭町2条10丁目教育大前」下車、徒歩5分

## 釧路校試験会場



### 名称

北海道教育大学釧路校

### 所在地

釧路市城山1丁目15番55号

### 経路

JR「釧路駅」からくしろバス(武佐線, ③別保線)で10分「城山十字路」下車、徒歩4分  
JR「釧路駅」から徒歩約30分

## 日本学生支援機構奨学金

本学では、日本学生支援機構奨学生募集について、各キャンパスで周知しています。

奨学金の種類と募集時期等（平成19年度採用者）

奨学金の種類	採用の種類	募集時期	貸与月額
第一種奨学金 【無利子貸与】	定期採用	4月	8万8千円
	緊急採用	随時	
第二種奨学金 【有利子貸与】	定期採用	4月	5万円・8万円・10万円・13万円の4種類の金額から選択
	応急採用	随時	
併用貸与	第一種奨学金申込みの学力基準を満たしており、経済的理由があれば、第一種奨学金と第二種奨学金の両方の貸与を受けることができます。		
入学時特別増額貸与	第1学年入学者で条件を満たす者に対して、希望により貸与月額の初回振り込み時に30万円が増額して貸与されます。		

### 【定期採用】

毎年4月に本学の各キャンパスにおいて、募集を行っています。

### 【緊急採用・応急採用】

家計の急変（主たる家計支持者が失職、破産、事故、病気若しくは死亡等又は火災、風水害等の災害等）で奨学金を緊急に必要とする者に対して、随時募集を行っています。

本学の奨学生数（大学院教育学研究科（修士課程））

平成19年3月1日現在

校名	学年・種別	1年		2年		計	
		第一種	第二種	第一種	第二種	第一種	第二種
札幌校・岩見沢校	学生数	73人		106人		179人	
	奨学生数	16人	9人	24人	20人	40人	29人
	%	34.2		41.5		38.5	
函館校	学生数	22		36		58	
	奨学生数	5	2	8	2	13	4
	%	31.8		27.8		29.3	
旭川校	学生数	30		47		77	
	奨学生数	7	2	6	3	13	5
	%	30.0		19.1		23.4	
釧路校	学生数	22		35		57	
	奨学生数	5		13	4	18	4
	%	22.7		48.6		38.6	
計	学生数	147		224		371	
	奨学生数	33	13	51	29	84	42
	%	31.3		35.7		34.0	

# 大学院教育学研究科高度教職実践専攻 (専門職学位課程) 概要

## 1 目的

学校現場に生起する諸課題に対して、問題解決への力量、技量として、授業実践力、学級・学校経営力、生徒指導力、教育相談力、協働遂行力、地域教育連携力を身につけさせるための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的とします。

## 2 概要

本専攻は、現在中堅教員（スクールリーダー）に求められるもっとも基本的な力量を「学校教育と教員の在り方に関する領域」、「教育課程の編成・実施に関する領域」、「教科等の実践的な指導法に関する領域」、「生徒指導・教育相談に関する領域」、「学級経営・学校経営に関する領域」、「特別支援教育に関する領域」の6領域に定め、自らの課題を深く研究する能力を身につけつつ、それ以上に、学校現場での多岐にわたる課題を、学校全体を常に見渡して、教師の協働によって解決していく資質・能力・力量を磨くことを主眼とします。

本専攻では「学級経営・学校経営コース」「生徒指導・教育相談コース」「授業開発コース」の3コースを設定して、総合的力量を有するとともに各コースで求められる力量を身につけ地域・学校でリーダーとして活躍する人材を養成します。

## 3 コースで養成する人材像

### 1) 「学級経営・学校経営コース」

- ・学級経営・学年経営に関して優れた知見と技能を身につけており、校内研修などを組織して学内外でリーダー的な役割を果たすことができる。
- ・学校の仕組みを制度・予算面から理解するとともに、学校間、地域と協働して学校経営に当たる実践的方策を身につけている。
- ・学校経営の組織マネジメントの基礎を理解して、学校経営に積極的に参画できる。

### 2) 「生徒指導・教育相談コース」

- ・生徒指導・進路指導上の諸課題を総合的に理解しており、その代表的な指導方法を熟知している。
- ・様々な問題行動や不適応行動に対して多くの事例研究を通じて、その深い理解と対処方法を知り、同僚を指導しながら、問題解決に当たることができる。
- ・将来健全な社会の成員として生活することを常に視野に置き、児童生徒の適切な成長を促すような生徒指導や教育相談ができる。

### 3) 「授業開発コース」

- ・少なくとも1つの教科等の授業研究に優れ、同僚の授業実践力を高めるリーダーとなることができる。
- ・総合的な学習を含む教科等について子どもの学びを拓く授業・教材開発を行い、授業改善につながる評価ができ、カリキュラム開発、授業研究等に関する校内研修をリードすることができる。

本専攻では学校における実習を重視しています。実習の内容は、次のとおりです。

#### 【ストレートマスターの実習内容】

1年次は、「学校課題俯瞰実習」(5単位)として、学校現場が抱える4つの領域(教科指導、生徒指導・教育相談、学級経営、学校経営)に分けた課題を俯瞰する実習を附属学校で週3日実施します。

2年次は、「自己課題解決・検証実習」(5単位)として、1年次での実習を通して見つけた学校教育に関する課題について、近接する課題をテーマとしている現職教員大学院生の勤務校(連携協力校)に配置し、現職教員大学院生と協働しながら各自が設定した課題を解決するための実践を行い、その解決策の検証を行います。

#### 【現職教員大学院生の実習内容】

1年次には、「リーダー力育成基礎実習」(4単位)として、リーダー力の基礎となる協働遂行力の育成を図ると同時に、4つの領域(教科指導、生徒指導・教育相談、学級経営、学校経営)に分けた学校課題を相互に関連づけてとらえる能力を伸ばすことを目的とします。また、「リーダー力育成基礎実習」(2単位)では、課題解決に向けての試行的実践と事例収集を目的とします。

\*「リーダー力育成基礎実習」の課題(学校現場での実践)については、現職教員の教職経験に基づく教育実践記録(各領域に関する実践報告等)を審査し、レポート課題に代替して単位認定できるものとします。

2年次には、「学校課題解決・検証実習」(4単位)として、各自が設定した課題に対して、リーダー力育成基礎実習を踏まえた解決策の実践と検証を行います。

### 3 授業方法

本専攻では学校・地域の教育を担う中堅教員を養成すると同時に将来学校・地域で中堅的役割を担う教員を養成することから、双方向遠隔授業システムを用いて3キャンパスをネットワークでつなぎ、全国的にみても先進的な体制で教職大学院のすべての授業を展開します。

道央の札幌圏では比較的規模の大きな学校が多いが、道東の釧路圏では小規模校の割合が高く、道北を担う旭川圏はその割合が半々になっている。これらの地域性を背景に持つ3キャンパスを結んで双方向遠隔授業システムを駆使して授業を展開します。そのことによって、大学院生は北海道での学校教育現場に生起する様々な課題について研究することができます。

各キャンパスには、いろいろな領域・分野を専門とする教員と学校教育現場での豊富な経験を持つ実務家教員を置き、大学院生の課題に応じて教員がチームを組んで指導にあたります。

### 4 教育職員免許状

本専攻において、教育職員免許法及び同施行規則に定める所要の単位を修得したときは、次に示す教育職員免許状授与の所要資格を得ることができます。

ただし、取得しようとする免許状の1種免許状を有することが条件となります。

専攻・専修	教育職員免許状の種類	免許教科
高度教職実践専攻	小学校教諭専修免許状	
	中学校教諭専修免許状	国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 保健, 技術, 家庭, 職業, 外国語(英語)
	高等学校教諭専修免許状	国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 工芸, 書道, 保健体育, 保健, 家庭, 情報, 農業, 工業, 外国語(英語)
	幼稚園教諭専修免許状	
	養護教諭専修免許状	

## 5 履 修 基 準

科目区分 修了要件 コース	授 業 科 目										修了 所 要 単 位	
	共 通 科 目		コ ー ス 別 選 択 科 目				学 校 に お け る 実 習			共 通 演 習		
	24 単 位	配 単 当 年 次 位	16 単 位 (いずれか1つの コース選択科目 から8単位以上 必修)	配 単 当 年 次 位	8	10 単 位 (必修)	配 単 当 年 次 位	2 単 位 (必修)	配 単 当 年 次 位	2		
学級経営・ 学校経営 コース	学校教育の課題と教員	1 2	学級の主体性を育む教育実践活動	2 2	8	学校課題俯瞰実習	1 5	10	ストリートマスター	マイオリジナルブック作成	2 2	
	これからの時代の学校教育の在り方 ～学校課題と学校改善計画～	1 2	学校と家庭・地域との連携における成果と課題	2 2								
	総合学習のためのカリキュラム開発	1 2	信頼性や客観性を高める学校経営の評価と課題	2 2								
	教育課程を創る	1 2	教師に求められるリーダーシップと同僚性の今日的課題	2 2								
	教科教育の実践と課題	1 2	へき地・小規模校の経営と課題	2 2								
	教科等の実践的指導力の形成	1 2										
生徒指導・ 教育相談 コース	生徒指導の意義と今日的課題	1 2	生徒指導・教育相談の基礎としての生涯発達心理学	1 2	16	リーダー力育成基礎実習	1 4	10	現職教員大学院生			
	児童生徒理解とその指導方法	1 2	学校経営と生徒指導の計画及び組織・運営	2 2								
	「生きる力」を育む学級・学年経営の実際と課題	1 2	生徒指導の実際	2 2								
	特色ある学校づくりと組織の活性化を図る学校経営の実際と課題	1 2	現代社会と生徒指導	2 2								
		1 2	非行臨床心理学	2 2								
	共通5領域における実践力の育成 -学ぶ楽しさや充実感を味わう学習指導-	1 1										
授業開発 コース	特別支援教育コーディネーターの役割と課題	1 2	授業実践と学級づくり	2 2	8	学校課題解決・検証実習	2 4					
	特別支援教育コーディネーターの役割と課題	1 2	子どもの学びを拓く授業づくり	2 2								
		1 2	教材の開発	2 2								
	特別支援教育コーディネーターの役割と課題	1 2	授業と学習の評価 道徳教育の開発	2 2								

印の共通科目は、選択、その他の共通科目は、必修である。

